

D 運営管理（オペレーション・マネジメント）

【総評】

令和6年度の本試験は、運営管理44問（昨年44問）のうち、生産管理が22問（昨年22問）、店舗・販売管理が22問（昨年22問）であり、例年とおりの出題構成となりました。また、5肢択一の問題は、生産管理14問（昨年20問）、店舗・販売管理が17問（昨年19問）と例年に比べて減少となりました。

特に計算問題は、生産管理4問（昨年8問）、店舗・販売管理が3問（昨年5問）出題されており、こちらも例年と比べて減少となりました。

なお、正誤の組み合わせを問う問題が10問（昨年度7問）と、例年と比べて増加傾向となりました。

・当年の難易度

生産管理、店舗・販売管理とも、毎年出題される論点や既出の問題がある中、きちんと理解していないと選択肢を決めきれずに間違ってしまう問題も多かったことから、全体としては、やや難しいレベルの難易度になったと思われます。

合格点を確保するには、例年同様に、基本的な知識で解くことが可能な問題を確実に解答し、新しい問題については、問題文や選択肢の記述から判断できる問題をいかに得点するかがポイントとなりました。

・新傾向や特筆すべき出題内容

（生産管理）

生産管理では、比較的出題頻度が高い、第16問（工程管理）や第21問（産業廃棄物）が例年同様出題されました。第16問（工程管理）については、新しい傾向として、出題の形式が例年と異なり、これまでの記号の意味を問う問題から、図を読み取った分析結果から改善施策を読み取る問題に変わりました。また、第2問（PERT図）も、これまでは表や図全体が表示された問題から、新しい形として、図の一部分のみの出題に変わりました、

比較的解きやすい問題であった、第1問（生産形態）や第4問（ライン生産）、第12問（DI分析）、第14問（外注管理）は、必ず得点しておきたい問題でした。

なお、第7問（工程能力指数）や、第9問（設備の優劣分岐点）は、特に難しい問題でしたので、時間内にできるだけ多く解答するためには、優先度を下げることが必要であったかもしれません。

（店舗・販売管理）

店舗・販売管理では、比較的出題頻度が高い、第23問（都市計画法）や、第35問（輸送手段）、第36,37問（ユニットロード）、第40問（GTIN）が例年同様出題されました。

比較的解きやすい問題である、第 28 問（価格政策）や第 29 問（商品購買行動）、第 36,37 問（ユニットロード）、第 38 問（物流センター）、第 39 問（GTIN）、第 42 問（個人情報保護法）、第 43 問（RFM 分析）は確実に得点しておきたい問題でした。また、第 24 問（屋外広告物法）や、第 25 問（食品リサイクル法）、第 30 問（古物営業法）などは、きちんと法令を理解していないと間違えやすい問題でした。

[的中！合格模試]

生産管理の第 5 問（部品表）と、店舗・販売管理の第 23 問（都市計画法）、第 27 問（人時生産性）、第 33 問（在庫管理）は、合格模試で出題された論点でした。STUDYing 受講生においては確実に得点しておきたい問題です。

以上